

関係者各位

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課長
(新型コロナウイルス感染症対策本部事務局)

高齢者施設及び障がい者支援施設の職員を対象とした新型コロナウイルス感染症に係る検査事業の継続について

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、平素より格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県では、高齢者施設や障がい者支援施設等の入所者と接する可能性がある職員の皆様に幅広く対象とした PCR 検査事業を実施しており、関係の皆様におかれましては、緊急事態措置実施期間において、週 1 回程度受検いただくなど、計画的に御活用いただいているところです。

高齢者施設及び障がい者支援施設等におきましては、厚生労働省より引き続き集中的検査の要請がなされていること、継続的にクラスターが発生していること、ワクチン接種後でも新型コロナウイルス感染症に感染する可能性があることから、感染拡大防止の取組を継続する必要があるため、10月も本事業を継続して実施することとしましたので、引き続き本事業を計画的に御活用いただきますようお願いいたします。

記

- 1 対象施設 福岡県内（北九州市、福岡市、久留米市を除く）に所在する入所系の高齢者施設及び障がい者支援施設等
※令和 3 年 1 0 月において 1 施設あたり 1 回を上限
- 2 対象者 入所者と接する可能性のある職員
- 3 受検期間 令和 3 年 1 0 月 1 日（金）から令和 3 年 1 0 月 3 1 日（日）
- 4 実施方法等 県から委託を受けた「株式会社ナチュラル 東京 PCR 衛生検査所」が検査を実施。
- 5 検査方法 唾液を用いた PCR 検査
- 6 検査費用 無料
- 7 その他 実施目的や最近のクラスターの発生状況は別紙を参照ください

Q1. 本事業を実施する目的は何ですか。

- A1. 高齢者施設や障がい者支援施設等の入所者は、新型コロナウイルスに感染した場合、特に重症化リスクが高く、施設内感染対策の強化が重要となります。
このため、これらの方と接する可能性がある施設職員を幅広く対象として、一斉・定期的（※）に新型コロナウイルスのPCR検査を実施するものです。

〔※ 本事業は、検査時点において、施設の職員が感染しているかどうかを確認するために実施するものであり、可能な限りすべての職員が一斉に検査を受けるようにしてください。〕

Q2. 10月における検査は、どのように申し込みを行えばよいですか。

- A2. お申込みの方法は、これまでご案内しているとおり、URL 又は QR コードから行っていただけます。

Q3. ワクチンを接種すれば、PCR 検査を受検しなくても良いですか。(質問が多い事項です)

- A3. 介護施設のクラスターでワクチン2回接種後に感染が確認された例もあり、ワクチン接種後でも新型コロナウイルスに感染する場合があります。
このため、厚生労働省からワクチンの接種状況や感染状況等を踏まえ、その在り方が示されるまでの間、検査の継続実施要請がなされておりますので、引続き、本事業について活用いただきますようお願いいたします。

Q4. ワクチンを接種すれば、PCR 検査で陽性になりますか。

- A4. 新型コロナウイルスワクチンは、ウイルスのタンパク質をつくるもとなる情報の一部を注射することで、ウイルスに対する免疫を作り出しています。ウイルス自体を体内に投与してはいませんので、接種をすることでPCR検査が陽性になることはないとされています。

Q5. 高齢者施設等を含めた福祉施設におけるクラスターの発生状況は。

- A5. 令和3年4月からこれまでの間に、福祉関連施設で66件のクラスター事案が発生しています。このうち全体の約4割にあたる25件が8～9月で発生しています。
未だ収束の目途は見通せない状況ですので、施設内感染対策の更なる徹底に加え、本事業を積極的に活用いただき、施設内へウイルスの侵入を防ぐ対策の強化に努めてください。